

4文科高第1196号
令和4年11月10日

各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
各都道府県知事
高等学校を設置する学校設置会社を所轄
する構造改革特別区域法第12条第1項の
認定を受けた各地方公共団体の長
附属学校を置く各国公立大学の長
独立行政法人大学入試センター理事長
殿

文部科学省高等教育局長
池田 貴城

令和7年度大学入学者選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置及び新教育課程履修者に対する出題について（通知）

このことについて、各国公私立大学長あて別紙のとおり通知しましたのでお知らせします。

については、本件について、各都道府県・指定都市教育委員会におかれては所管の高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）及び域内の市区町村教育委員会等に対し、各都道府県知事におかれては所轄の高等学校に対し、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の長におかれては認可した高等学校に対し、高等学校を設置する各国公立大学におかれては設置する附属高等学校に対し、十分な周知をお願いします。

【本件担当】

高等教育局大学教育・入試課入試第三係（首藤、笠原）

T E L : 03-5253-4111（内線 4902）

F A X : 03-6734-3392

E-mail : gaknyusi@mext.go.jp

4文科高第1196号
令和4年11月10日

各国公私立大学長（大学院大学を除く） 殿

文部科学省高等教育局長
池田 貴城

令和7年度大学入学者選抜における旧教育課程履修者に対する
経過措置及び新教育課程履修者に対する出題について（通知）

令和4年4月1日から新しい高等学校学習指導要領（平成30年文部科学省告示第68号）（以下「新学習指導要領」という。）が施行（別添1参照）されたことに伴い、令和7年度以後の大学入学者選抜において課す個別学力検査からは、新学習指導要領に準拠し実施することになり、大学入試センターからは、「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの問題作成の方向性及び試作問題等について」（令和4年11月9日付け独立行政法人大学入試センター理事長通知）のとおり、出題教科・科目の出題方法等の予告とともに、問題作成の方向性及び試作問題等の公表が行われています（別添2参照）。

各大学においては、令和7年度大学入学者選抜を実施するに当たり、平成21年3月に告示された高等学校学習指導要領に基づく教育課程（以下「旧教育課程」という。）を履修した入学志願者（以下「旧教育課程履修者」という。）が、不利にならないよう下記の事項に十分留意の上、必要に応じ経過措置を講ずるようお願いいたします。

また、新学習指導要領に基づく教育課程（以下「新教育課程」という。）を履修した入学志願者（以下「新教育課程履修者」という。）に対する出題に当たっては、履修内容に変更が生じているため、下記の事項に十分留意の上、出題いただくようお願いいたします。

なお、新学習指導要領に対応した令和7年度大学入学者選抜において課す個別学力検査及び大学入学共通テストの教科・科目の設定等については、既に予告・公表していただいている大学もありますが、入学志願者の準備に大きな影響を及ぼすことが予想されることから、2年程度前を待たず、可能な限り早期に検討し、予告・公表するよう、改めてお願いいたします。特に、令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストから新たに出题されることとなる『情報Ⅰ』については、「『令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告（補遺）』について」（令和3年9月29日付け3文科高第701号高等教育局長通知）別紙2のとおり、大学入学者選抜協議会における合意事項として、各大学は、「令和7年度大学入

学者選抜における『情報Ⅰ』の利用に当たっては、(略) それぞれのアドミッション・ポリシー等に基づき、利用の考え方について明確にするよう努める」こととされていることから、各大学においては、この趣旨を踏まえた対応をするよう、お願いいたします。

記

1. 旧教育課程履修者に対する経過措置について

(1) 大学入学共通テストについての留意事項

経過措置科目として出題される『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』、『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』及び『旧情報(仮)』について、旧教育課程履修者の選択を認めることが望ましいこと。

(2) 各大学における個別学力検査についての留意事項

大学入学共通テストにおいて採られる措置を参考にして、例えば以下の措置を講ずるなど、可能な限り配慮すること。

- ① 新教育課程による出題科目とこれに対応する旧教育課程の科目との共通の内容を出題する。
- ② 共通する範囲のみで出題することが困難と判断される場合には、必要に応じ旧教育課程の科目の範囲から出題する問題を別途用意し、選択解答できるようにする。

2. 新教育課程履修者に対する出題について(各大学における個別学力検査についての留意事項)

改訂後の各科目の履修内容に十分留意の上出題すること。特に「数学A」、「数学B」、「数学C」は項目を選択して履修するので、そのことに配慮すること。

3. その他

上記1及び2については、対象となる入学志願者の学習準備に資するよう、決定後速やかに大学のホームページに掲載するなど広く情報提供するとともに、各大学において令和6年7月31日までに発表予定の令和7年度大学入学者選抜に関する基本的事項及び令和6年12月15日までに発表予定の学生募集要項等においても明記すること。

【本件担当】

高等教育局大学教育・入試課入試第三係（首藤、笠原）

T E L : 03-5253-4111（内線 4902）

F A X : 03-6734-3392

E-mail : gaknyusi@mext.go.jp

高等学校の各学科に共通する教科・科目等及び標準単位数

〔 改 訂 〕

〔 現 行 〕

教科	科 目	標準 単位数	必履修科目
国語	現代の国語	2	○
	言語文化	2	○
	論理国語	4	
	文学国語	4	
	国語表現	4	
	古典探究	4	
地理 歴史	地理総合	2	○
	地理探究	3	
	歴史総合	2	○
	日本史探究	3	
	世界史探究	3	
公民	公共	2	○
	倫理	2	
	政治・経済	2	
数学	数学Ⅰ	3	○2単位まで減
	数学Ⅱ	4	
	数学Ⅲ	3	
	数学A	2	
	数学B	2	
	数学C	2	
理科	科学と人間生活	2	┌ 「科学と人間生活」を 含む2科目 又は 基礎を付した科目を 3科目
	物理基礎	2	
	物理	4	
	化学基礎	2	
	化学	4	
	生物基礎	2	
	生物	4	
	地学基礎	2	
地学	4		
保健 体育	体育	7~8	○
	保健	2	○
芸術	音楽Ⅰ	2	┌ ○
	音楽Ⅱ	2	
	音楽Ⅲ	2	
	美術Ⅰ	2	
	美術Ⅱ	2	
	美術Ⅲ	2	
	工芸Ⅰ	2	
	工芸Ⅱ	2	
	工芸Ⅲ	2	
	書道Ⅰ	2	
	書道Ⅱ	2	
	書道Ⅲ	2	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	
英語コミュニケーションⅡ		4	
英語コミュニケーションⅢ		4	
論理・表現Ⅰ		2	
論理・表現Ⅱ		2	
論理・表現Ⅲ		2	
家庭	家庭基礎	2	┌ ○
	家庭総合	4	
情報	情報Ⅰ	2	○
	情報Ⅱ	2	
理数	理数探究基礎	1	
	理数探究	2~5	
総合的な探究の時間		3~6	○2単位まで減

教科	科 目	標準 単位数	必履修科目
国語	国語総合	4	○2単位まで減
	国語表現	3	
	現代文A	2	
	現代文B	4	
	古典A	2	
	古典B	4	
地理 歴史	世界史A	2	┌ ○
	世界史B	4	
	日本史A	2	
	日本史B	4	
	地理A	2	
	地理B	4	
公民	現代社会	2	「現代社会」 又は 「倫理」・「政治・経済」
	倫理	2	
	政治・経済	2	
数学	数学Ⅰ	3	○2単位まで減
	数学Ⅱ	4	
	数学Ⅲ	5	
	数学A	2	
	数学B	2	
	数学活用	2	
理科	科学と人間生活	2	┌ 「科学と人間生活」を 含む2科目 又は 基礎を付した科目を 3科目
	物理基礎	2	
	物理	4	
	化学基礎	2	
	化学	4	
	生物基礎	2	
	生物	4	
	地学基礎	2	
	地学	4	
	理科課題研究	1	
保健 体育	体育	7~8	○
	保健	2	○
芸術	音楽Ⅰ	2	┌ ○
	音楽Ⅱ	2	
	音楽Ⅲ	2	
	美術Ⅰ	2	
	美術Ⅱ	2	
	美術Ⅲ	2	
	工芸Ⅰ	2	
	工芸Ⅱ	2	
	工芸Ⅲ	2	
	書道Ⅰ	2	
	書道Ⅱ	2	
	書道Ⅲ	2	
	外国語	コミュニケーション英語基礎	
コミュニケーション英語Ⅰ		3	
コミュニケーション英語Ⅱ		4	
コミュニケーション英語Ⅲ		4	
英語表現Ⅰ		2	
英語表現Ⅱ		4	
英語会話		2	
家庭	家庭基礎	2	┌ ○
	家庭総合	4	
	生活デザイン	4	
情報	社会と情報	2	┌ ○
	情報の科学	2	
総合的な学習の時間		3~6	○2単位まで減



入試セ企第 161 号
令和 4 年 11 月 9 日

各 国 公 私 立 大 学 長 殿

独立行政法人大学入試センター理事長

山 口 宏 樹
(公 印 省 略)

令和 7 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの
問題作成の方向性及び試作問題等について

平素より、大学入学共通テストの実施をはじめ、当センターの業務に御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成 30 年 3 月に告示された高等学校学習指導要領（以下「新学習指導要領」という。）に対応した令和 7 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「令和 7 年度共通テスト」という。）に関しては、これまで、当センターにおいて各教科・科目に関する専門家等から構成される委員会を設置し、問題作成等に関して検討を行ってきました。

この度、大学や高等学校等における令和 7 年度共通テストに向けた検討や準備に資するよう、出題教科・科目の出題方法等（出題範囲、科目選択の方法、試験時間、配点など。これまでに公表済みの内容も含まれます。）について予告するとともに、問題作成の方向性及び試作問題を作成し、別添のとおり公表するとともに、大学入試センターのウェブページに掲載しました（https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r7ikou/r7ikou.html）。

各大学におかれましては、下記の事項に御留意いただいた上で、令和 7 年度共通テストに向けた検討や準備を進めていただきますようお願いいたします。

記

1. 成績提供について

令和 7 年度共通テストにおける各大学への成績提供方法の詳細については、資料 1 で予告した出題教科・科目の出題方法等を踏まえて今後決定しますが、現時点においては以下の方向で検討していますので、お知らせします。

- ・『国語』については、科目別得点に加え、大学が特定の分野の利用を指定する場合は、分野別得点を提供する。分野別得点の詳細は、資料 1 の別表 1 の（注 1）を踏まえ、大問別に近代以降の文章（3 問）、古典（古文（1 問）、漢文（1 問））とする。
- ・『地理総合、歴史総合、公共』を受験した者については、科目別得点（配点 100 点）及

び段階表示に加え、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」別の得点（選択したものの得点，配点各 50 点）及び段階表示を提供する。

- ・『物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎』を受験した者については，科目別得点（配点 100 点）及び段階表示に加え，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」別の得点（選択したものの得点，配点各 50 点）及び段階表示を提供する。

2. 問題作成の方向性及び試作問題等について

令和 7 年度共通テストの問題作成方針の検討の方向性は，資料 2 及び資料 3 のとおりです。また，この方向性を踏まえ，新学習指導要領に対応した試験問題の具体的なイメージを共有するために資料 3 別添の「試作問題」を作成するとともに，「試作問題」がどのようなことを問うているかについて資料 3 別添の「試作問題の概要」で説明しています。令和 7 年度共通テストに向けた検討の際に，ぜひ御活用ください。

問合せ先
独立行政法人大学入試センター
試験企画部試験企画課
電話：03-5478-1360
03-5478-1366